

## 新年のごあいさつ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、県協会、各郡市協会 並びに各種委員会の皆様におかれましては、当協会の諸事業や大会運営等に多大なるご理解ご尽力をいただき、改めて厚く御礼申し上げます。誠に有難う御座居ました。

昨年は、10月14日にサッカースタジアム「PEACE STADIUM」を含めた複合施設「長崎スタジアムシティ」がグランドオープン致しました。「V・ファーレン長崎」と「長崎ヴェルカ」のプロスポーツやエンターテインメントを基軸にした「スポーツ・地域創生事業」が始まりました。東京ドーム1.5個分となる敷地を活かした、民設民営での商業施設・オフィス・ホテル等がある新しい街づくりのスタートです。

V・ファーレン長崎は下平監督のもとに、新体制での今年度の邁進と2度目のJ1昇格を願っております。

新スタジアムに今年こそ「J1」という大きな家を建ててください。

サッカー日本代表 森保一監督は、2025年を「進化」の年と位置づけられました。W杯勝利へ「進化」の年とするにあたり、「勝つためのパワー」を常に考え、選手層を広げ、戦術的にもいろいろな戦いができるようにとの思いを込めた抱負が現れています。

その為にも「凡事徹底」という、隙（すき）や油断を見せないような努力の積み重ねを大切に考えられておられ、「サッカーを通じて日常の励ましを送りたい」との変わらない監督の思いやりが理解できました。

JFA 宮本会長はじめ担当者が来崎され、日本サッカー協会 47FA 訪問会議が 1 月 16 日に予定されております。「JFA への進言」を余儀無くされた案件がありましたので、真摯に改善に努める旨を伝える所存です。  
子どもたちが楽しく、安全に、安心してサッカーに打ち込めるよう、JFA には「JFA サッカーファミリー安全保護宣言」があります。

1. サッカーにおける暴力・暴言を根絶します。(ゼロ・トレランスの実現)
2. 子どもたちをハラスメントから守ります。
3. 子どもたちの健康を守ります。
4. 良い指導者の養成と有資格指導者を適正に配置します。
5. 暑熱環境下等でのサッカー環境を改善します。
6. 年齢・性別・障がい・人種に関係なく、サッカーを楽しめる環境を整備します。

一方、未だにスポーツの楽しさや心身の健やかな成長の機会を奪っている現状が依然としてあります。

「JFA サッカーファミリー安全保護宣言」は、ユニセフ「子どもの権利とスポーツの原則」の趣旨に賛同し、JFA はその実施に努めることを宣言しています。47FA が足並みを揃えて、趣旨を徹底して達成すべきものと考えます。長崎県サッカー協会内の各人それぞれの立場に於いても、改善すべき行為があれば勇気を持って実践してください。

令和7（2025）年 乙巳（きのと・み）年です。巳年は、再生復活の年とも言われます。それなりの努力も一方では必要とのこと。

今年の乙巳年の乙（きのと）は、去年の甲辰（きのえ・たつ）年で出た芽が、外界の抵抗もあり、まっすぐに伸びない状況とも言われます。勇敢に進む年。新しいことを進めるため、改革創造に努力する年とも言われます。

これまでの事業にリスペクト（大切に思うこと）の気持ちを忘れずに、事業運営には勇気を持って今の時代に合うよう新風を吹き込むことも必要かと思えます。

結びにあたり、今年一年が「幸多き実りある年」でありますよう御祈念申し上げますとともに、今年度の事業が無事に完遂しますよう、会員の皆様のご理解ご協力を宜しくお願い申し上げます。

令和7（2025）年 乙巳 1月5日 大安吉日  
一般社団法人 長崎県サッカー協会  
会長 殿村 育生